

社友会だより

第 33 号

発行 センツウ社友会
住所 神奈川県川崎市麻生区上麻生 2-35-16
〒215-0021 平野昌明 内
編集者 大場省平

* 役員会の開催 *

○日 時 平成 24 年 2 月 7 日 (火) 14:00 から 16:00

○場 所 (財) 東京都中小企業振興公社秋葉原庁舎
(東京都千代田区佐久間町 1-9)

○出席者 9 名 (法安、長谷川、崎山、大和田、菅原、
松原、松本、濱田、平野の首都圏在住役員)

「法安会長の挨拶」

今年最初の役員会である。

これまで役員の皆さん協力のおかげで、会の運営は順調に推移しており感謝している。

今後とも会発展のため皆で大いに議論し、より良い運営をしていきたいので協力願いたい。

1. 議題

- (1) 事務局からの報告事項について
- (2) 平成 23 年度の活動状況中間報告について
- (3) 第 25 回定期総会の開催スケジュールについて
- (4) 会創設 25 周年記念行事について
- (5) その他

2. 議事

(1) 事務局からの報告

①平野事務局長から景浦黎三様、板垣照雄様への米寿お祝いを贈呈した。

- ・米寿祝いに対する 2 名の方からの礼状を回覧
- ・会費未納者について、各支部へ連絡、収納の協力を依頼することとした。

②大和田理事から、「平成 23 年度中間会計報告」を説明、財政状況は厳しい旨、報告があった。

- ・一部役員から、「将来、会費の値上げも検討することになるのでは」との発言があった。
- ・支部活動支援費は、中部支部、九州支部へも支払することとした。
- ・現ホームページのサポート終了に伴い、ホームページソフトのバージョンアップを図る必要があり、検討の結果、菅原理事に一任することとした。

(2) 平成 23 年度の活動状況中間報告について

①松原理事から平成 23 年度「センツウ同窓の集い」の開催結果について報告された。

- ・首都圏の現役の方からは「開催曜日及び時間について、平日の夜が良い」との意見があるが、ご高齢者並びに遠方からの参加者等を考えながら、開催日時及び運営スタイルを再検討することとした。

②平野事務局長から、平成 23 年度の中間活動状況の報告があった。

③首都圏「懇親会」の開催について

23 年度活動計画 (本部) で予定している首都圏「懇親会」の開催について討議し、

・平成 24 年 4 月 7 日 (土) 13 時から「丸の内ポールスター」での開催を決定した。

(後日、開催日を 3 月 31 日 (土) に変更開催した。)

・会場手配を松原理事が担当、会員案内は平野事務局局長が担当し、郵便及び E メールで案内することとなった。

(3) 第 25 回定期総会の開催スケジュールについて

①平野事務局局長から第 25 回定期総会の開催スケジュールを説明、了承された。

- ・開催日時 平成 24 年 7 月 7 日 (土) 12:00～
- ・場 所 銀座ラフィナート

②今後の総会開催日の変更については、別途検討することとした。

(4) 会創設 25 周年記念行事について

①会長から更めて、「周年行事は通常“ゼロのつく年に実施する”ものであるが、当会は過去に周年行事を実施していないことから、25 周年に記念行事を実施してはどうか」と発言された。

②会創設 25 周年は、平成 24 年 12 月 1 日であるが、記念事業を実施するならば、本年早い時期から準備し、「第 26 回定期総会 (平成 25 年開催) で成果物等を披露する。」方向で今後、具体的に検討することとした。

③社友会には過去 (5～6 年以上) の議事録、総会役員会資料等がないため、

- ・平野事務局長から、創立当時の関係者に社友会資料の保有等をお聞きする。

④25 周年記念行事は、次の内容を基本とすることとした。

- ・社友会史 (簡単な冊子) を考える。
- 構成 (創会時の苦労話、歴代会長談話、会員数活動・組織化の変遷、写真挿入等)
- ・写真を収集する。
- ・社友会会員に「過去の社友会行事及び会社事業時の写真」の提供を依頼する。
- ・ドコモ・モバイル(株)に、旧センツウの保存写真の閲覧・貸出を依頼する。平野事務局局長が担当する。

⑤平野事務局長は、前③確認及び④の依頼結果を次の役員会で報告する。

(5) その他

今回の役員会は平成 24 年 5 月 25 日 (金) 14 時

から本会場にて開催する。

センツウ社友会 会員の皆様へ

〔板垣照雄さん〕

一陽来復の候となりました。社友会の皆様には、健やかにご精励のこととお察しいたします。

私も歳を重ね、お蔭様で米寿を迎える年になりましたが、先般は身にあまりお祝いをいただき、恐縮しつつも誠に有難うございました。厚く御礼申し上げます。

顧みますと、私が日本船舶通信 KK に入社したのは昭和 57 年でした。丁度、会社創立 30 周年の年で船舶電話が手動から自動船舶電話に移行する最中で活気ある時期でした。あれから 30 年。船舶電話を含めた電気通信事業をはじめ政治、経済、社会情勢も大きく変動し、まさに往時茫々、光陰矢の如しです。

また先般来、私と同年配の社友会員の方が一人、二人と逝去され、「社友会だより」で訃報をみるたびに悲しみと淋しさをしみじみと感じ、ご冥福をお祈りしております。

ところで、昨年の卯年は東日本が跳んだり、はねたりの未曾有の大天災でした。あの大災害発生の日から早や 1 年になります。今年の辰年にあやかって、昇竜の勢いで復旧、復興されんことを願いたしますとともに、社友会の皆様には今後とも一層のご健勝であらんこと祈念いたしております。

簡略ながらご高配の程、重ねて厚く御礼を申し上げます。有難うございました。

中央地区 懇親会開催

平成 24 年 3 月 31 日 (土) 13:00 から東京駅北口のレストラン、ポールスターにて開催した。

当日は、交通機関がストップする等の悪天候となりましたが、26 名が参加され、親交を深めました。



会は、松原さんの司会により進行、法安会長から、本日は悪天候になり参加者が少なく残念ですが、その分親交を深めて下さいと挨拶、引き続き乾杯の音頭をとった。

乾杯後、参加者それぞれが挨拶を交わす等、時間と共に歓談の声も大きくなり、会も盛り上った。

続いて参加者恒例の近況報告に移った。

「岡村さん」早々とセンツウを首になり、ドコモエンジ、イーエンジと移り、元気に働いています。



娘が二人、近くに住んでいるので、孫が毎日押しかけて来て大変です。皆さんの元気な姿を拝見し、私も頑張らないと思った次第です。

「平井さん」ドコモエンジ、協和エク



シオと移り、そこを退職しましたが、他社に移り現在、電波申請の仕事をしています。

「錦戸さん」昨年フリーになりました。92 才の母が田舎で一人暮らしでしたので、東京に呼び寄せ介護しています。

「鈴木勝男さん」川崎センターに、

ラフな服装で通っていましたが、本日は、ブレザーを着て出席しました。元気です。

「鱒淵さん」皆さんお久しぶりです。鴻巣市に



おいて、書道を教えています。生徒は 3 5 ~ 3 6 名で、女性が 6 割で月に 4 ~ 5 回楽しく行っています。

「山形さん」10 年前に会社を辞めましたが、太ったと言われています。昨年、健康診断で不整脈が見つかり、カテーテルで対応しました。元気で飲んで

います。「本波さん」3 月 28 日にて退職しました。長年煙草を吸い過ぎたせいか調子が悪くなり、検査を受けています。



「今井さん」旅行に行ったりの生活です。これまで 5000 坪の農地で栗を栽培していたが大赤字です。しかし、百姓が必要になる時期が来ますよ。それまで続けます。

「坂井さん」現在、巻き取りを進めていますが、若い技術者がいない。川崎センターでは、ロジスティック業務

とメンテナンス業務を行っているが、業務の一部を大阪に移すとのことで、業務量も少なくなります。

最後に中締めは、恒例となった中野さんにお話し、中野さんから、先輩と飲むと健康と年金の話ですが、若者と飲むと退職する頃には、年金も先輩に食いつぶされているのではとの話になります。

皆様が、上に行かれるまで元気でと挨拶、一本締めで無事開きとなりました。

23 年 10 月 26 日秋季ゴルフコンペ参加者

